

# 中・高生のための ハワイ インデプス プログラム (深掘り) 「SDGs総合研修」のご案内



## Hawaii in-Depth Programs

“ハワイの人々がどのようにSDGsに向き合い、取り組んでいるかを、  
研修生の自発的なリサーチによって学ぶプログラム”

企画・運営：JAAC日米学術センター



# 「学びの宝庫」ハワイ

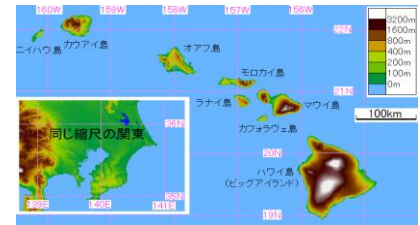
世界のどの大陸からも地理的に最も離れたハワイ。ハワイ諸島は環太平洋(Pan Pacific)の中心に位置し、東西諸国の架け橋であると共に地理的にも世界に類をみない、ユニークな自然学習の教育素材に恵まれた場所です。

日本との歴史的、文化的な繋がりがあながらも、アロハ・スピリットという「他者を受け入れる」文化によって、様々な人種や民族が「奇跡的な調和」を成し遂げた、ミックス・カルチャー都市でありながら、先進的な文化や経済、政治的な要素を併せ持ち「日本から最も近い西欧先進諸国」と決して、呼んでも過言ではありません。(参照：米国西海岸L.A.までの飛行時間10~11時間、ハワイは6~7時間)

ご存知の通り、美しい海、快適な天候や自然と都会の利便性の絶妙なバランスを持つハワイは、世界に誇る最高のリゾート・ブランドの一つと数えられており、奇跡的な文化、世界中から家族連れが安心して訪れることができる「治安の良さや安全」「裾野の広さ」も大きな魅力の一つです。

このようにユニークな地理、文化、経済、治安、気候、景観はさることながら、近年はさらに最新の教育設備や教育資源を持つ可能性に満ちた「学びの宝庫」としても知られるようになってきており、毎年世界中から多くの学生が短期・長期学習プログラムに参加するためにハワイを訪れ、国際交流の舞台として様々なプログラムが存在しています。

JAACでは、グローバル社会における次世代の更なる教育プログラムの発展において大変重要な役割を担うハワイを、東京と同程度の大きさのオアフ島の美しい海や自然、文化等が織りなす、「島全体が学びのキャンパス」と捉え、島中をフットワーク良く回る中で学び、ハワイの持つ資源や地理、気候や文化等を深掘りして学ぶ、超実践型の短期研修をバリエーション豊かに展開しています。



## <ハワイ研修地としての魅力>

### ポイント1 抜群の立地環境—Location

ハワイは、日本を含むアジアとアメリカ本土を結ぶ、いわば「太平洋の中心」その地の利を活かし、ハワイは政治や社会、文化の「交差点」であり続けた

### ポイント4 インフラが整備されている—Infrastructure

教育機関が充実しているほか、各学習テーマを最新の環境で体験できる宿泊施設や移動手段も豊富に揃う

### ポイント7 ホスピタリティーあふれる「アロハスピリット」—Aloha Spirits

「アロハ」の心で、愛と思いやり、信頼など、人間の尊さを学ぶ 私たちに出会いや喜びを教えてくれるはずだ

### ポイント2 安全、そして安心—Safety & Security

治安が良く、日本語対応が充実しているため、緊急の際も安心 班別行動も不安なし。衛生面でも不安がない

### ポイント5 豊かな文化・歴史—Cultural Diversity & Rich History

ハワイ独自の文化と歴史。日系移民の時代から続く、日本との深いつながりも。海外から日本を学ぶチャンスに

### ポイント8 個性的な6つの島—Unique 6 Islands

カウアイ島、オアフ島、モロカイ島、ランアイ島、マウイ島、ハワイ島、それぞれがユニークで、島それぞれに多彩な学習素材が見つかる

### ポイント3 教育素材の宝庫—Educational Opportunities

文化交流から語学学習、天文学や海洋学、自然エネルギー、医療、先端技術まで、さまざまな教育素材を提供

### ポイント6 恵まれた自然環境—Living Laboratory

ダイナミックな大自然が広がるハワイは、まさに「地球の縮図」ハワイを訪れると、自然の神秘に触れることができる

# SDGs を学ぶために ～どのように新しい常識を学ぶか～

2015年に国連が採択したSDGs (Sustainable Development Goals=持続可能な開発)。世界各国で取り組み、達成すべき目標として、「貧困を無くそう」、「気候変動に具体的な対策を」、「海(陸)の豊かさを守ろう」、「住み続けられる街づくりを」等、全17の項目を掲げました。各項目の「Goal=成果」を可視化し、達成への指標が具体化されていることが特徴です。

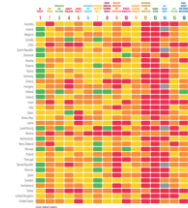
このSDGsの概念は世界全体や国ごとは勿論、ありとあらゆる企業、産業や事業単位、地域コミュニティや個人単位でも、理解し考えていく必要があります。その中でも特に、これから次世代を担う若者の人材育成を担う教育関係者の皆さまにはこの新しい「新・世界常識」への対応が求められています。

SDGsは17項目がそれぞれ独立したものではありません、各項目が部分的・複合的に関連しています。また、コンセプト的なテーマであることから、「Feel(感じるんだ), Then Act (そして行動するんだ)」という姿勢が大切とされ、学習の上では、以下の要素が必要となります。

「期間(長さ)」×「体感(中身)」×「集中」×「行動(実地)」×「対比/比較(他国)」

これらの要素を多分に含んだ教育方法の一例にプロジェクト・ベース・ラーニング(PBL)型の短期研修があります。また、実地型研修のアクティブ・ラーニング(自発的に学ぶ/考えさせる教育)を通して、論理的・分析的・多角的な見方や考え方ができるようになることも、海外での短期研修での大きなメリットになります。

本研修では、他にもアメリカの教育現場で重視されている「クリティカル・シンキング」の実践と、研修生の自発的なリサーチによって、相乗的に学習効果を大きくすることで、SDGsをより深く、感覚的に理解できるような学習プログラムを開発しました。



# ハワイで学べる SDGs

観光がメインの小さな島であるハワイは、土地の開発やビジネスによって自然環境に与える影響が相対的に大きい。SDGsの誕生以前から、環境保護や持続可能な計画的開発、クリーンエネルギー事業等の取り組みを行ってきました。

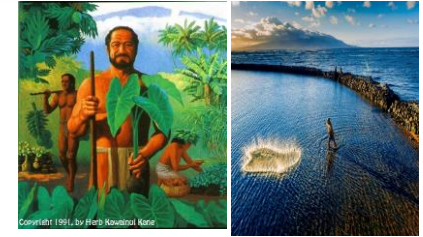
## <ハワイのSDGsへの取り組み(例)>

- ・ 計画的で持続可能な古代ハワイアの生活様式(タロイモ耕地栽培、フィッシュボンドを利用した漁獲等)
- ・ 安心して飲める水のインフラ設備(全米でもっとも衛生的で健康的な食生活を送る州)
- ・ 人種・年齢・性別による就業差別の禁止
- ・ ビニール袋制限や、サンゴ礁保護のための日焼け止め成分規制などの取り組み

世界に先駆けてSDGs諸問題に取り組むハワイを舞台とした本研修では、全てのアクティビティーをSDGsと関連付けています。

## <本研修で学べること(例)> ※詳細は研修内容をご確認ください。

- ・ ビショップ博物館見学、カヌー・ハンズオン航海の体験を通してハワイアの「サステイナブルな」生活スタイルや考え方を歴史的 & 科学的に学ぶ
- ・ ファームツアーを通して農作物の流通や消費における地域型SDGsを学ぶ
- ・ ファーマーズ・マーケットを見学して環境問題や地域循環型の流通を学ぶ
- ・ ハナウマ湾教育プログラムやハワイ州観光局 国連担当等を招いたパネルディスカッションで、生態系や観光資源の保全活動、行政やNGO機関の取り組みや活動を知る
- ・ ハワイ大学生とのSDGs交流
- ・ ボランティア活動を通してNPOが担う重要な役割を学ぶ
- ・ パールハーバーでの平和学習



# 研修内容例 ①

## ポイント

- ・ 全日程にSDGs専任講師が同行指導し、日本人プログラムリーダーがサポートするSDGs総合探求プログラム  
※SDGs専任講師の詳細をお求めの方は、お問合せください。
- ・ 全てのアクティビティーがSDGs学習に繋がる「実感型プログラム」

## 見どころ

### <到着日/初日> 【SDG s 探究活動 ～テーマ性のある到着日観光というニュー・スタンダード (新常識) ～】

到着後は、SDG s 半日探究活動でテーマやオリジナル性を持たせて有意義に過ごします。  
空港でSDGsの講師と合流したら、SDG s 探究活動でハワイの様々な取り組みや、一般の日本からの観光で訪れる人々は決して知ることができない、「**SDG s 目線の裏ハワイ**」の見どころを楽しく学びます。



### <2日目> 【SDG s Hawaiiの取り組み～国連の仕事を学ぶ、ハワイアンを持続可能生活スタイルの歴史を学ぶ～】

午前中はコンドミニアムのミーティングルームで「SDGsのイントロダクション ～今後の見どころは？～」をテーマとして、**SDG s 専任講師による特別講義**を行います。サステナブル開発とは？ 人権とは？ 貧困はハワイではどうなの？ といった、SDG s の17項目の考え方を具体的に知ること、各アクティビティーの見るべきポイントを理解します。  
また、**国連ハワイ支部のスタッフ**を招いてハワイにおける国連の取り組みを学びます。

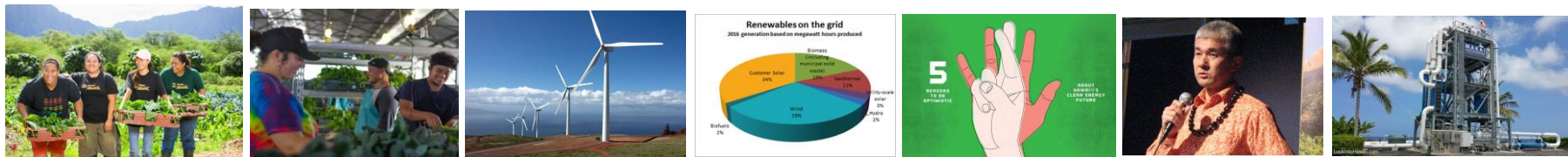
午後は**ビショップ博物館**で古代ハワイアンのサステナブルな暮らしや文化、社会秩序や古代の法律など歴史を中心に学びます。



## <3日目> 【農業生産者、NPO、ハワイ州観光局のSDGsへの取り組み】

3日目の午前中は「生産者のSDGs」と題してSDGs地域貢献型ファームツアーを**MA'Oオーガニック・ファーム**で行います。ハワイの農業では農家がサブスクリプション式投資を受けて、その投資金額で雇用や運営資金を確保した後、投資元への還元を実現するサステナビリティ農業等、新しい生産者の在り方に積極的に取り組んでいます。同様に土地が大変貴重なハワイでの農業では、早い段階からオーバー・ディベロップメント(過剰開発)への規制を行い、「持続可能な」コミュニティーの維持に取り組んでいます。

午後はSDGs専任講師がお勧めする**NPO活動に参加し**、NPOの社会における重要な役割と取り組みを学びます。コンドミニウムに戻った後は、**ハワイ州観光局ゲスト**を招いて「ハワイ州のSDGs観光資源と様々な取り組み」について、パネル・ディスカッション&質疑応答を行います。



## <4日目> 【SDGsの流通と多様性、使う側の責任を知る ～生産者から消費者までのSDGs～】

4日目の午前中は**ハワイ大学関連郊外キャンパスでの調理体験**（ガーリックシュリンプやタロイモ調理）を通し、ハワイの「食」に触れていきます。生産者から消費者へと繋がる流通の過程や雇用等、食とSDGsを関連付けます。また、大学内のカフェテリアでは、**ハワイの学生への接客体験&交流**も用意しています。

午後は**ハワイ大学生と共に市内散策**します。ハワイの大型スーパーと地域に根差した小売り店が、それぞれに持つ特徴や問題点等を多角的な視点で学ぶフィールドトリップです。  
テーマ：日本とはどう違うのか？ ハワイが抱える問題とは？ SDGs内の「消費者の責任」とは何か？

夕方は**ファーマーズ・マーケット**の主催者から、ファーマーズ・マーケットならではの流通や取り組みについて、なぜハワイでファーマーズ・マーケットが流行するのか？等を学びます。  
夜はMA'Oファームから届けられた野菜で、サラダパーティーを楽しみます。



## <5日目> 【SDGs講師が案内する終日フィールドトリップ】

5日目は終日SDGs専任講師が各所見どころに案内し、SDGs研修を行います。  
 ハワイの中心都市ホノルルと郊外の街の違い、ビジネスへの取り組み方違い、街単位でのSDGsへの取り組み、リサイクル素材に取り組むアパレルブランド、NPO海洋環境保全への取り組み、フィッシュ・ボンドを利用した持続可能で計画的な食料自給やSDGs「陸の豊かさとは」を知る、パールハーバーでの平和学習等、様々なテーマを持って観光します。



## <6日目> 【SDG s の質の高い教育～ 貧困をなくすために社会で取り組むべき問題～】

6日目の午前中はホームレスの子供のために募金活動を行ったり、食事や生活雑貨、文具、本等を提供する**現地の非営利団体 Project Hawaii**を訪れ、炊き出し、寄付金活動を通して社会が掲げる問題を知ります。  
 ハワイは一時期、人口当たり全米No.1のホームレス都市として知られており、子供の教育や生活環境の問題等が発生しています。

観光が州のGDPの21%を占めるハワイにとって、表立たせたくないホームレス問題こそ、未来を生きる若者にこそ、見て学んでほしい課題です。 ホームレスの子供が知らない日本という異国に興味を持つことで「学ぶ、知る」楽しさを現地の子供たちにも提供したいと考えています。（時期にもよりますが、一緒に遠足に連れて行って交流といった体験や可能です）

午後は成果資料を作成し、夕方に発表&フィードバックを行います。 成果発表後はBBQパーティー & 研修終了証授与式を行います。



# 研修プログラム日程案

当日程表はイメージとなり、実際と異なる場合があります。

日程	時間	移動	スケジュール	食事
1日目 (月)	午前	航空機	ホノルル到着→SDGs半日探究活動	朝：機内 昼：各自 夕：○
	午後	専用車	宿泊先チェックイン、ウェルカムオリエンテーション SDGs専任講師による特別講義①	
	夕刻		特別座学「SDG'sの基本的な考え方～新世界常識というスタンダード～」イントロダクトリー講座 ウェルカムディナー	
2日目 (火)	午前		SDGs専任講師による特別講義②「世界で何が起きているのか？」 SDGs専任講師+国連スタッフによる特別講義「ハワイで見るSDGs完全攻略」	朝：○ 昼：各自 夕：各自
	午後	公共交通機関	ビショップ博物館見学	
3日目 (水)	午前	専用車	MA'O オーガニック・ファームツアー	朝：○ 昼：各自 夕：各自
	午後	専用車	NPO活動に参加	
	夕刻	専用車	ハワイ州観光局ゲストによるパネルディスカッション「ハワイ州のSDGs観光資源と様々な取り組み」	
4日目 (木)	午前	専用車	ハワイ大学関連郊外キャンパスでの調理体験 ハワイの学生への接客体験&交流	朝：○ 昼：各自 夕：各自
	午後	専用車	ハワイ大学生と共に市内散策	
	夕刻	専用車	ファーマーズ・マーケット・ツアー&農業投資と配当を学んだ後、その野菜でサラダパーティー	
5日目 (金)	終日	専用車	SDGs専任講師案内によるフィールドトリップ	朝：○ 昼：各自 夕：各自
6日目 (土)	午前	公共交通機関	Project Hawaiiの活動に参加 炊き出し&交流	朝：○ 昼：○ 夕：○
	午後	公共交通機関	最終プレゼンテーション&フィードバック	
	夕刻		フェアウェルディナー（BBQ）& 研修終了式	
7日目 (日)	午前 専用車		ホノルル空港へ移動→ホノルル空港発✈	朝：○



# 滞在先とプログラム キャンパスマップ

## 滞在先情報

- ・エリア：利便性の高いワイキキ中心地（バス停目の前）
- ・形態/カテゴリ：コンドミニウムタイプ同等クラス
- ・部屋タイプ：2名/室（1人部屋は追加料金となります）
- ・設備：ベッド(2つ)、キッチン、エアコン、冷蔵庫、インターネット、コーヒーメーカー、プール、BBQエリア、テニスコート、洗濯機(有料)、ジム等

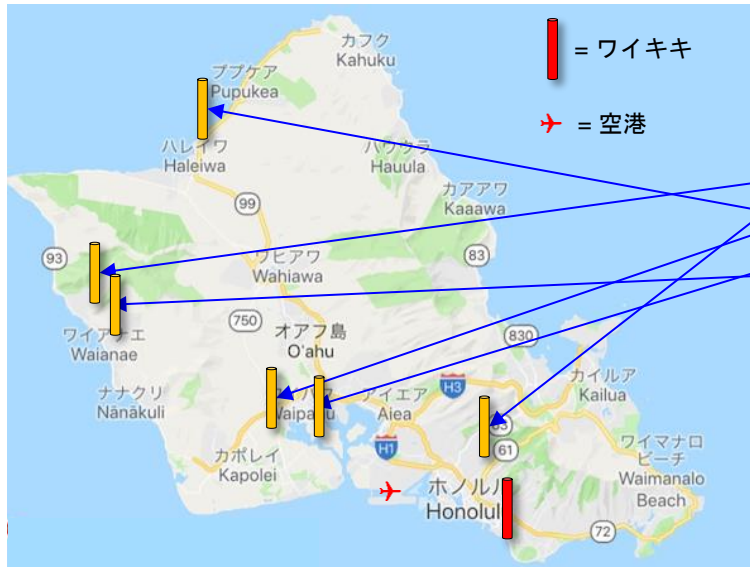
※ ホームステイ手配も可能です。



## 周辺情報

- ・食品等の SHIPPING が可能なスーパーマーケットが徒歩圏内
- ・フードコートなどが近くにある便利な立地
- ・ワイキキビーチまで徒歩数分

## プログラム キャンパスマップ (ワイキキ外)



### <主な視察 / 実習先(想定)>

- 到着日のSDG's観光 = SDG's のおススメ！
- 2日目：ビショップ博物館
- 3日目：Ma'O Farm
- 4日目：ハワイ大学関連校キャンパスで調理&交流
- 5日目：終日観光真珠湾 & ハレイワタウン
- 6日目：NGOホームレス活動サポート

